

# 授業料改定の内容等について

## 1. 授業料改定の内容

- 令和8年4月以降の学士課程（学部・学環）の入学者（留学生を含む）及び令和9年4月以降の大学院博士前期課程（修士課程、専門職学位課程含む）の入学者より、次のとおり授業料を改定します。在学生には適用しません。
- 入学料、検定料の改定は行いません。
- 編入学者は、通常の入学者の学年進行に合わせて適用します。（三年次編入：令和10年4月入学者より適用。医学部二年次編入：令和9年4月入学者より適用。）

|                                        | 現行              | 改定後             | 改定の時期       |
|----------------------------------------|-----------------|-----------------|-------------|
| 学士課程（学部・学環）                            | <b>535,800円</b> | <b>642,960円</b> | 令和8年4月入学者より |
| 大学院博士前期課程（修士課程、専門職学位課程含む）              | <b>535,800円</b> | <b>642,960円</b> | 令和9年4月入学者より |
| 大学院博士後期課程（医学系研究科医学博士課程、共同獣医学研究科博士課程含む） | <b>535,800円</b> | 現行どおり           | —           |

## 2. 経済的支援の取組

- 現行の授業料減免と同様に改定後の授業料も、その減免割合に応じて減免します。
- 従来の授業料納付・減免申請の手続きに基づき、授業料減免を適用するため、申請手続きの重複や申請漏れが生じないように、申請手続きに係る負担軽減にも努めます。

# 授業料改定の内容等について

## 3. 授業料改定分の使途

- 在学期間中のより高いレベルの教育研究環境の提供に反映します。
- これまでにを行った学生アンケートの結果や、学生説明会、ご意見受付フォームを通じて寄せられた要望等から優先順位を付けて計画的に整備を進めます。
- 整備に当たっては、学生の声に耳を傾け、要望を尊重します。
- 今後、授業料改定分で進める教育研究環境の整備については、整備内容とともに整備に要した金額等についても、適時適切に本学ホームページ等を通じて情報公開を進めます。

| 重点項目名                         | 整備概要（期待される効果）                                                                                                                                     | 所要額<br>（億円） |
|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 【学びを止めない】高速コネク<br>ト基盤の構築      | <b>基幹ネットワークの更新による安定したネットワーク環境（Wi-Fi）を構築。</b> リモートからの健康診断予約など、 <b>デジタルサービスへのアクセス</b> を強化し、学習効率を向上します。                                              | <b>7.1</b>  |
| 【集中力を高める】快適環境コン<br>ディショニング    | <b>老朽化した空調設備を全面的に更新。</b> 室温管理と換気の改善により <b>健康リスクを低減</b> するとともに、 <b>快適な学習環境</b> を整えます。                                                              | <b>9.0</b>  |
| 【心を支える】常勤プロによるメン<br>タルサポート    | 臨床実習や国家試験期のストレス緩和等に向け、 <b>専門カウンセラーを配置</b> し、学生相談所と健康科学センターに <b>常勤カウンセラーを増員</b> 。学生が安心して学業に専念できる <b>精神的なセーフティネット</b> を強化します。                       | <b>0.4</b>  |
| 【心地よさをデザイン】キャンパ<br>ス・アメニティ改革  | 和式トイレが残る学内施設の <b>トイレを洋式化</b> し、明るく清潔な空間へ改修。女性用トイレへの <b>パウダーコーナー設置</b> や、多機能トイレの導入を進め、 <b>快適性と多様性への配慮</b> を向上させます。                                 | <b>1.0</b>  |
| 【リスクを回避】24時間あんしん<br>キャンパス整備   | キャンパス内の <b>照明を再配置・増設</b> し、夜間移動の安全を確保。また、学生が日常利用する「証明書発行機」や「修学支援システム」などの <b>基幹システムの保守・更新</b> を確実にを行い、サービス停止という <b>重大なリスクを回避</b> します。              | <b>0.9</b>  |
| 【知をつなぐ】未来へつむぐラー<br>ニングコモンズ    | 学生の学修に必要な <b>新刊図書</b> の継続的整備を実現。 <b>LED照明への更新</b> をはじめ、 <b>最適な学習環境</b> （空調設備の更新含む）を維持します。                                                         | <b>1.3</b>  |
| 【誰も置き去りにしない】ユニバ<br>ーサル・アクセス整備 | 学内施設の玄関への <b>スロープ設置</b> や、階段への <b>手すり設置</b> により、身体に障害を持つ学生に配慮した環境を確保。図書館でも <b>電動昇降式デスク</b> や <b>タッチパネル式検索端末</b> を導入し、 <b>学生に配慮した学びの環境</b> を提供します。 | <b>0.4</b>  |

※金額は概算のため、変更の可能性がある。

※このほか、各部局の特性に応じた教育研究の高度化等の整備計画がある。